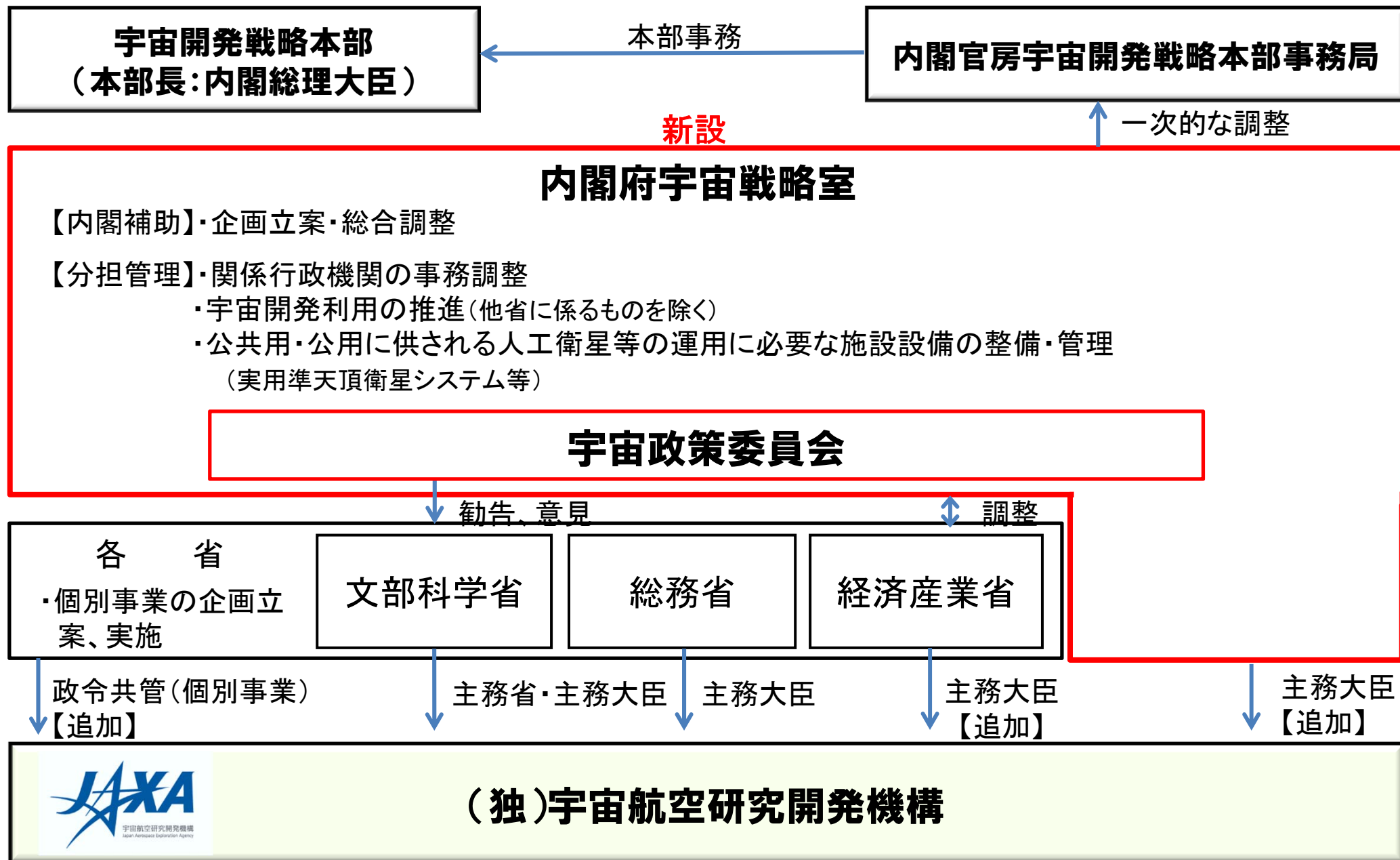


# 将来宇宙輸送システムの実現に 向けた国の役割

平成 26 年 3 月  
宇宙戦略室審議官  
中 村 雅 人

# 新たな宇宙開発利用の推進体制(平成24年7月)



# 宇宙輸送システムに関する長期ビジョンの検討の現状と今後

□ 長期的な観点の宇宙輸送システムに関する検討を昨年8月から実施。

## 宇宙基本計画

より中長期的な観点から、・・・我が国の宇宙輸送システムの在り方について速やかに総合的検討を行い、その結果を踏まえ必要な措置を講じる。

### 宇宙政策委員会

#### 宇宙輸送システム部会

・中長期的な観点からの宇宙輸送システムの在り方に係る総合的検討

委託

素案

### 宇宙輸送システム長期ビジョン ワーキンググループ

将来の宇宙輸送システム政策への反映

例：戦略的予算配分方針等

# 宇宙輸送システム実現に向けた取組の意義

長期的自律性の確保

宇宙利用の拡大と  
宇宙産業の発展

先端技術の獲得

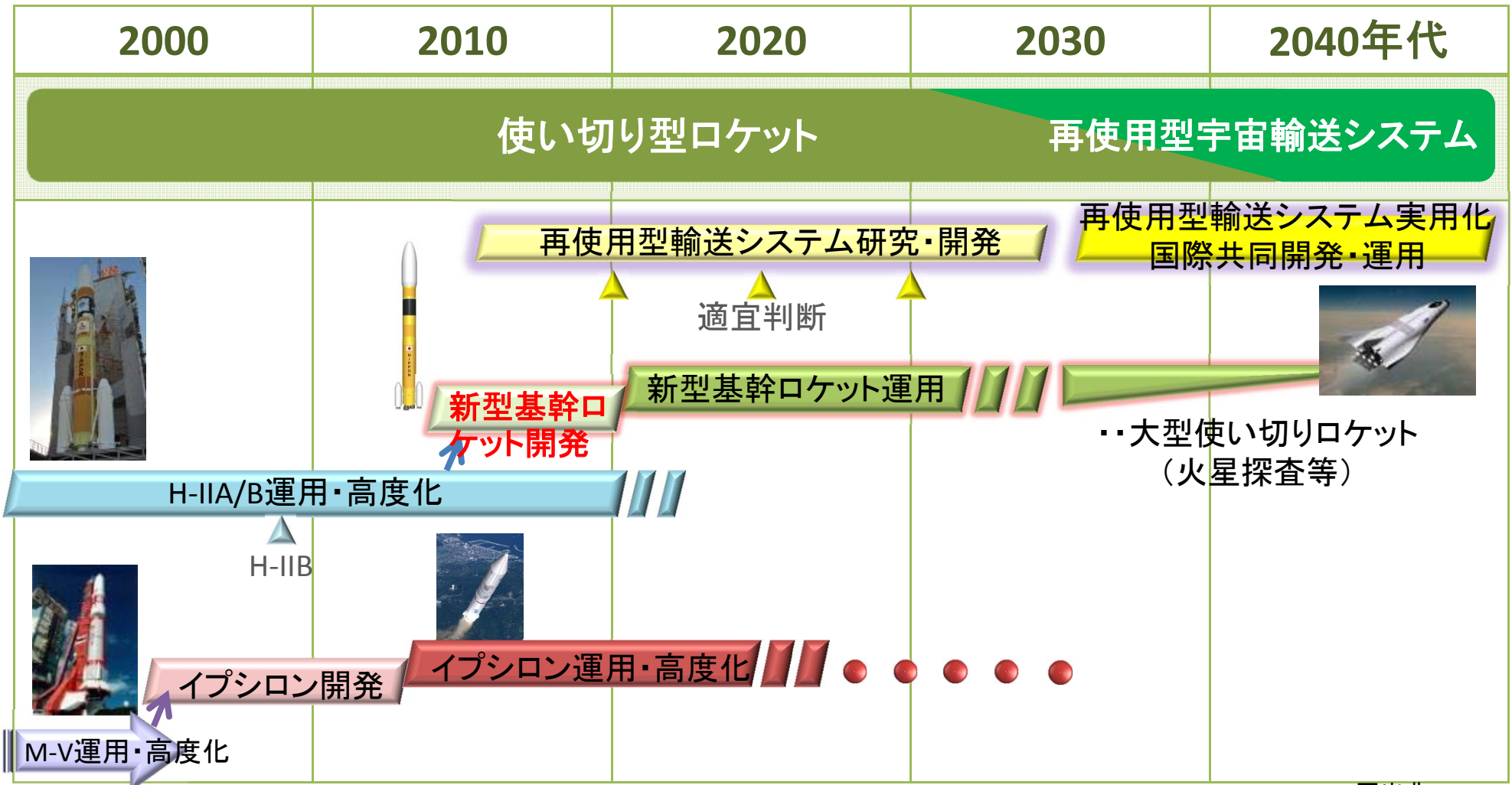
国際優位性の確保

人材育成

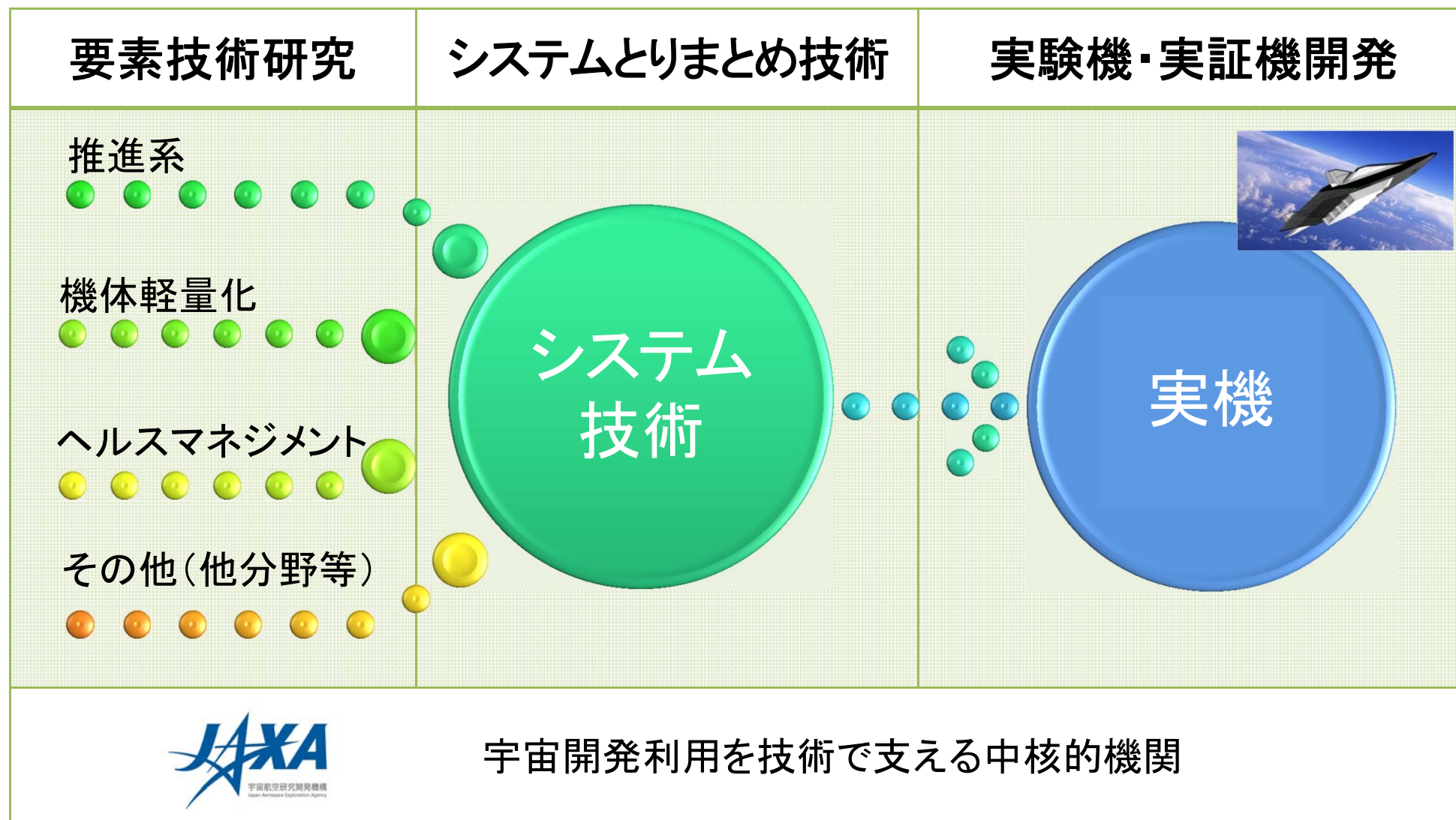
有人宇宙輸送への  
発展性

# 宇宙輸送システム実現のための現状と今後の展開

- 2020年から新型基幹ロケット運用。2030年代までは使い切り型ロケットが主流
- 当面、国として基幹ロケットの開発・運用・維持に尽力
- その間、再使用型宇宙輸送システムの実用化に向けた研究開発を検討



# 宇宙輸送システム実現に向けた国の取組(技術的課題)



# 宇宙輸送システム実現に向けた国の取組(その他課題)

## 国際基準策定への関与

- 航空機のような技術基準、技術認定制度の国際的な策定議論に参加

## 国際連携の推進

- 我が国の実施機関と各国実施機関との連携推進

## 国内連携の推進

- JAXA、大学、企業等の連携強化

## 人材育成

- システム全体開発の経験確保
- 魅力的環境の創出

## 規則整備

- 安全基準、商業活動のための規則制定